

平成 30 年 3 月末日

教育学部長 殿

FD 委員会委員長
福田 亘博

入試方法の妥当性の検証

(平成 29 年度及び平成 30 年度卒業生を対象として～)

入試区分と学生の学業成績(GPA)、教員採用試験および公務員試験の現役合格との
妥当性・相関について

現在の教育学部の入試区分は、AO 入試、推薦入試、一般入試(前期・後期)、センター利用入試(前期・中期・後期)の 4 つから成る。ただし、2014 年度入学の一期生は、他の年度とは異なり、推薦入試(I 期・II 期)、一般入試(前期・後期)、二次募集の 3 つの入試区分で入学している。また、2019 年度に三期生が卒業する予定である。そのため、一期生と二期生の状況についてのみ示す。表 1 と表 2 に、一期生と二期生の各入試区分の人数、GPA 平均値、教員採用試験および公務員試験の可否の人数を示した。

表 1 に示した一期生をみると、一般前期で入学した学生 18 名のうち 14 名が試験を受験し、1 次試験の合格率は 71%、2 次試験の合格率は 43%である。一般後期と二次募集で入学した 3 名は、全員が 2 次試験まで合格している。

表 1 平成 26 年度入学生(一期生)の入試と学業成績(4 年間)及び教員採用試験・公務員現役合格との関係

1期生			H29_1次				H29_2次			
入試区分	人数	GPA平均値	受験数	合格	不合格	合格率	受験数	合格	不合格	合格率
一般前期	18	3.01	14	10	4	71%	14	6	8	43%
一般後期	2	2.17	1	1	0	100%	1	1	0	100%
推薦Ⅰ期	1	3.01	1	0	1	0%	1	0	1	0%
推薦Ⅱ期	4	3.00	3	2	1	67%	3	0	3	0%
二次募集	1	3.28	1	1	0	100%	1	1	0	100%
合計	26	2.95	20	14	6	70%	20	8	12	40%

表 2 に示した二期生をみると、一般前期で入学した 9 名のうち 5 名が受験し、1 次試験の合格率は 60%、2 次試験の合格率は 40%である。他方で、センター前期とセンター後期で入学した学生の 1 次試験のご確率は、それぞれ 92%と 100%と高い。2 次試験の合格率は、ともに 75%と他と比べて高くなっている。

表 2 平成 27 年度入学生（二期生）の入試と学業成績（4 年間）及び教員採用試験・公務員現役合格との関係

2期生			H30_1次				H30_2次			
入試区分	人数	GPA平均値	受験数	合格	不合格	合格率	受験数	合格	不合格	合格率
一般前期	9	2.74	5	3	2	60%	5	2	3	40%
一般後期	0									
センター前期	14	2.96	12	11	1	92%	12	9	3	75%
センター後期	4	2.66	4	4	0	100%	4	3	1	75%
一般推薦	7	2.76	4	2	2	50%	4	2	2	50%
AO	2	2.69	0	0	0		0	0	0	
合計	36	2.82	25	20	5	80%	25	16	9	64%

図 1 に、平成 26 年度入学生（一期生）における入試区分と GPA のドット図を、全学生と 1 次試験合格者および 2 次試験合格者に分けて示した。図 1 から分かるように、推薦入試で入学した学生で 2 次試験まで合格した学生はいない。

図 1 平成 26 年度入学生（一期生）の入試区分と卒業時の学業成績（GPA）の関係

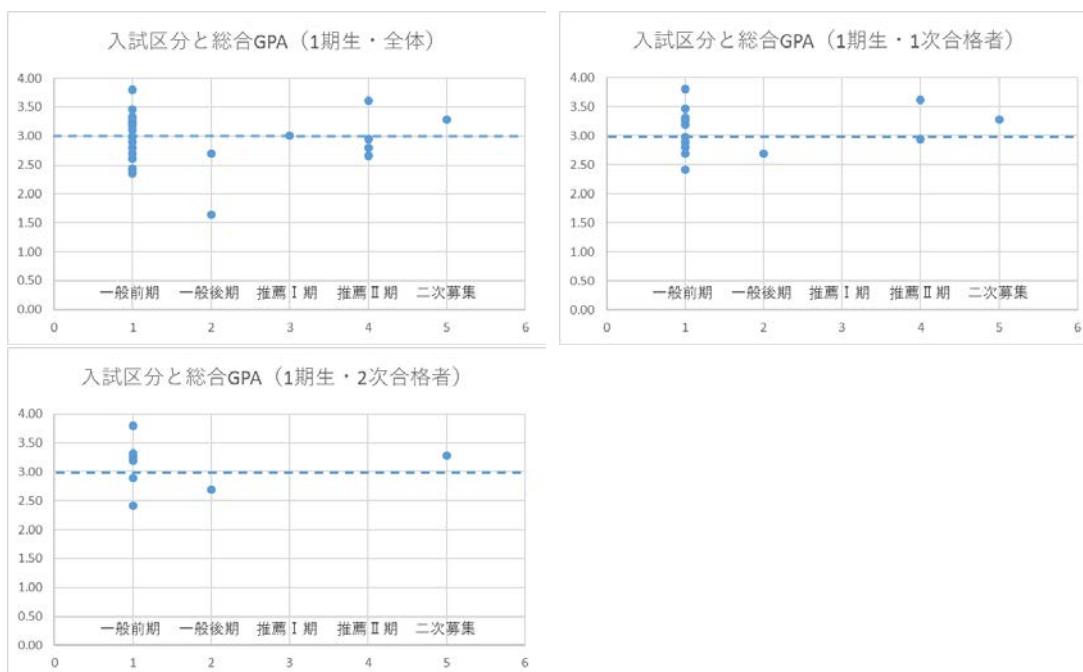
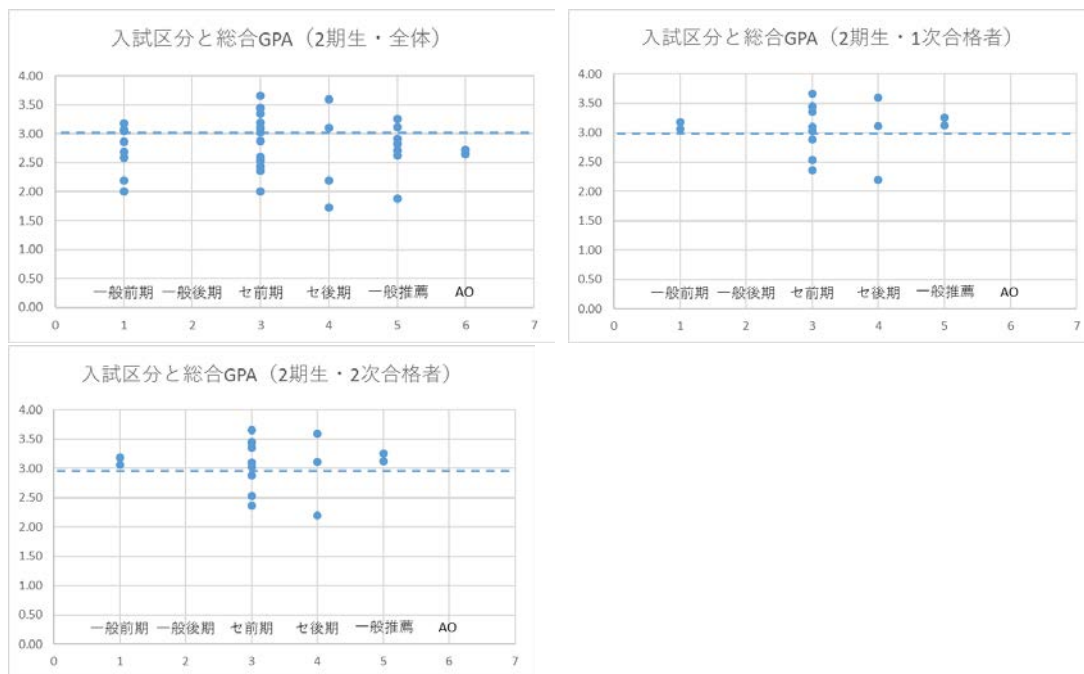


図 2 に、平成 27 年度入学生（二期生）における入試区分と GPA のドット図を、全学年と 1 次試験合格者および 2 次試験合格者に分けて示した。図 2 から分かるように、センター利用入試の学生

は GPA が 3.0 を下回っても 2 次試験まで合格している学生がいるが、一般前期と推薦入試で入学した学生で 2 次試験まで合格した学生はいない。

図 2 平成 27 年度入学生（二期生）の入試区分と卒業時の学業成績（GPA）の関係



一期生と二期生の状況を見ると、後期区分（一般後期、二次募集）とセンター利用区分（前期、後期）で入学した学生の合格率は比較的に高い。逆に、推薦入試と一般前期で入学した学生の合格率は低い。現在の入試区分で考えると、センター利用入試での入学かどうかを一つの視点として置き、センターを利用していない学生には、GPA3.0 以上を目指す学習支援が必要と示唆される。